

事業評価シート

番号 1740070 _ 001

【1.基本情報】

事業名	岐阜市みどりのまち推進財団事業委託				
担当部名	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	持続可能な都市基盤づくりの推進		政策コード	6 - 2 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	(一般財団法人) 岐阜市みどりのまち推進財団	
実施期間	平成7 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜公園、梅林公園の管理及び岐阜公園における有料公園施設の使用料収納事務を委託するもの				
事業の内容	岐阜公園来園者休憩所等管理業務並びに使用料収納事務、岐阜公園来園者用駐車場管理業務並びに使用料収納事務、岐阜公園駐車場案内及び周辺整理業務、岐阜公園維持管理業務、川原町広場施設開閉業務、梅林公園管理業務。				
事業の対象	何を	快適な公園環境、岐阜公園における駐車場及び休憩所等の有料公園施設			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜公園及び梅林公園への来園者			
	どのくらい (具体的 数値で)	有料公園施設以外は毎日開園、駐車場は毎日、休憩所は309日間			
令和2年度 (実施内容)	岐阜公園来園者休憩所等管理業務並びに使用料収納事務、岐阜公園来園者用駐車場管理業務並びに使用料収納事務、岐阜公園駐車場案内及び周辺整理業務、岐阜公園維持管理業務、川原町広場施設開閉業務、梅林公園管理業務。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		0	
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		41,912	42,713	44,851
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	委託費	41,912	42,713	44,851
減価償却費【施設管理】※(C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		41,912	42,713	44,851

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	41,912	42,713	44,851

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	41,912	42,713	44,851

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜公園駐車場利用者	岐阜公園駐車場利用者	岐阜公園駐車場利用者
受益者数	435,732	489,168	402,810
受益者負担額(千円)	29,779	33,537	30,014
受益者負担率(%)	71.1%	78.5%	66.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	96	87	111

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	岐阜公園年間駐車場利用台数	単位	台
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	150,000	150,000	150,000
実績値	125,012	138,783	127,790

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	岐阜公園年間来園者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1,500,000	1,500,000	1,500,000
実績値	1,015,787	1,117,418	659,261
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜公園、梅林公園ともに本市を代表する公園であり、年間100万人を超える来園者によりよいサービスを提供するため、熟練した経験をもつ企業や団体への委託は必須である。 民間事業者等のノウハウを活用することで、利用者に対するサービスの向上が期待できるので、指定管理者制度の導入などを検討すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	長年の受託実績による熟練した経験から、おおむね効率的な運営ができています。 民間事業者等のノウハウを活用することで、更なるコスト削減が期待できるので、指定管理者制度の導入などを検討すべきである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	令和元年岐阜県観光入込客統計調査によると、岐阜公園への来園者数は、平成27年975,913人、平成28年1,059,884人、平成29年1,099,076人であるが、平成18年に策定した岐阜公園基本計画による目標値1,500,000人をまだ達成できていない。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	全ての公園利用者が受益者であり、公園に自家用車で来園する者が駐車場料金を負担しているため、施設維持のために料金を徴収することは適当であり、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	長年にわたり岐阜公園および梅林公園の管理に携わり相応のノウハウを蓄積しており、安定した利用者サービスが提供されている。 新型コロナウイルス感染症の影響を除けば、来園者数が増加傾向にあるなど、これまでの管理による成果も挙げられるため、指定管理者制度の導入については慎重に検討していく。

事業評価シート

番号 1740070 _ 002

【1.基本情報】

事業名	(一社)日本公園緑地協会会費				
担当部名	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	持続可能な都市基盤づくりの推進		政策コード	6 - 2 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	(一社)日本公園緑地協会
実施期間	昭和42 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	全国の公園関係者と協力して広報、啓発、調査研究などの公益活動を行う(一社)日本公園緑地協会(以下、「当該協会」という。)から公園にまつわる様々な情報を入手し、また、主催する研修に参加することによって技術の向上・知識の蓄積を図り公園緑地行政の向上を図るため	
事業の内容	当該協会への会費負担	
事業の対象	何を	会費
	誰に (対象者・対象者数)	(一社)日本公園緑地協会
	どのくらい (具体的 数値で)	年間115,000円支出
令和2年度 (実施内容)	年間115,000円の会費負担	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		0	
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		115	115	115
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	加入団体負担金	115	115	115
減価償却費【施設管理】※(C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		115	115	115

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	115	115	115

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	115	115	115

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	公園利用者	公園利用者	公園利用者
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	研修会等の回数		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	6	6	6
実績値	6	15	3

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	遊具点検研修への出席人数		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	3	3	3
実績値	3	3	—(コロナによる中止)
達成状況	○(達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	技術の向上・知識の蓄積等を目的とした研修に参加することで、市民が安全に安心して遊具利用することにつながり社会のニーズに合うものである。 公園管理者が市であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	公園遊具の安全確保につながる。 職員の知識の蓄積等のための研修参加であり他に効率的な代替方法はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、一部の研修が中止となったが、現在は、WEB研修などで再開された。研修に参加することで得られる知識が蓄積されるため、将来的にも十分効果の得られる事業である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	公園は市民の利用に供するものであり、受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	公園緑地行政の向上のために必要な、公園に関する情報提供、研修開催等により職員の資質向上が図られるため、現状維持として今後も実施する。

事業評価シート

番号 1740070 _ 003

【1.基本情報】

事業名	岐阜ファミリーパーク再整備事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	持続可能な都市基盤づくりの推進		政策コード	6 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成25年度～令和14年度	根拠法令 関連計画※	都市公園法		

【2.事業概要】

事業の目的	市民ニーズに適合した再整備を行い、来園者数の増加及び来園者における利用満足度(快適、安心、楽しく等)の向上を図る				
事業の内容	用地買収及び遊戯施設や運動施設等の公園施設の更新・新設				
事業の対象	何を	公園施設(遊戯施設、運動施設、便益施設、休養施設等)			
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び公園利用者			
	どのくらい (具体的 数値で)	事業費:約2.5億円/年			
令和2年度 (実施内容)	用地買収、物件補償、造成工事(駐車場整備)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,438	140	6,460	190	6,500	200
パートタイム(嘱託職員)	0	0	0	0	0	0
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	4,438	140	6,460	190	6,500	200

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		291,574	210,546	227,714
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	施設整備	234,579	158,260	49,067
	調査設計	5,184	3,025	28,784
	用地買収	51,811	49,262	149,863
減価償却費【施設管理】※(C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		291,574	210,546	227,714

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	296,012	217,006	234,214

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	110,740	98,780	79,000
県支出金	0	0	0
市債	99,600	95,900	114,900
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	210,340	194,680	193,900

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	85,672	22,326	40,314

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	公園利用者	公園利用者	公園利用者
受益者数	487,917	608,653	462,840
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	176	37	87

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	公園施設の更新数		施設
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	5	0	2
実績値	5	0	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	公園利用者の満足度		%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	95	95	95
実績値	93	92	93
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	再整備を始めた平成25年度以降、順調に来園者数が増えており、市民・社会のニーズに適合している。 本市を代表する総合公園として、市が指定管理者とともに、適切に整備・維持管理する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜三輪SICの開通や再整備の効果により、来園者数が増加しており、市民の憩いの場の創出やレクリエーションの場の提供をはじめとする直接利用価値の向上に加え、環境保全や防災性向上などの間接利用価値の向上が図られている。 再整備基本計画に基づき、効率的かつ効果的に再整備が行われている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	順調に来園者数が増えており、事業終了年次に目標を達成できる見込みである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	本公園は、本市を代表する総合公園であり、市民全般の総合的な利用に供するものであることから、受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	市民や利用者等の意見を伺い策定した『再整備基本計画』に基づき、遊戯施設や運動施設等を計画的に更新及び整備することで、費用対効果や目標達成に大きく寄与することから、現状維持として事業を継続実施する。

事業評価シート

番号 1740070 _ 004

【1.基本情報】

事業名	公園施設長寿命化対策事業				
担当部署	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	持続可能な都市基盤づくりの推進		政策コード	6 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成26年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	都市公園における安全性の確保及びライフサイクルコスト縮減を目的として、公園施設の適切な維持管理を行う。	
事業の内容	「岐阜市公園施設長寿命化計画」に基づき、改善が必要と判断された公園施設の改築を行う。	
事業の対象	何を	公園施設(遊具等)
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び公園利用者
	どのくらい (具体的 数値で)	20基程度/年
令和2年度 (実施内容)	遊具等の改築を15公園において実施	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,219	70	3,487	110	4,875	150
パートタイム(嘱託職員)	0	0	0	0	0	0
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,219	70	3,487	110	4,875	150

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		132,301	206,025	198,749
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	公園施設	132,301	206,025	198,749
減価償却費【施設管理】※(C)				
計(D)=B+C		132,301	206,025	198,749

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	134,520	209,512	203,624

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	132,200	89,710	95,020
県支出金	0	0	0
市債	118,980	80,700	85,500
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	251,180	170,410	180,520

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	-116,660	39,102	23,104

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	公園利用者	公園利用者	公園利用者
受益者数	406,735	406,735	406,735
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	-287	96	57

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	公園施設改修		公園
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	20	22	15
実績値	20	22	15

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	長寿命化更新施設数		施設
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	21	80	159
実績値	21	80	159
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民をはじめとする公園利用者が安心・安全に利用できるよう事業を実施するものであり、市民・社会ニーズに適合している。 管理者である市が実施する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	公園施設が更新されることで、市民活動が活性化し、直接利用価値が向上するほか、安心・安全な公園が維持されることで、環境維持や防災性向上などの間接利用価値の向上が図られている。 岐阜市公園施設長寿命化計画に基づき、効率的かつ効果的に事業が行われている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	公園施設が更新されることで、市民活動の活性化や費用対効果に大きく寄与することから、本事業は有効性が高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	公園は市民の利用に供するものであり、受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	公園施設を更新することで、費用対効果や目標達成に大きく寄与することから、現状維持として事業を継続実施する。

事業評価シート

番号 1740070 _ 005

【1.基本情報】

事業名	都市公園ストック再編事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	持続可能な都市基盤づくりの推進		政策コード	6 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成28年度～	年度	根拠法令 関連計画※	都市公園法	

【2.事業概要】

事業の目的	地域住民のニーズや周辺の環境に適した公園再編を行うことで、来園者数の増加や市民活動の活性化及び来園者における利用満足度(快適、安心、楽しく等)の向上を図る。	
事業の内容	地域のニーズに配慮した公園施設再編 遊戯施設、休養施設等の公園施設の更新・新設	
事業の対象	何を	公園施設(遊戯施設、運動施設、便益施設、休養施設等)
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び公園利用者
	どのくらい (具体的 数値で)	4公園程度/年
令和2年度 (実施内容)	美島公園ほか3公園の再整備を実施	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,110	35	317	10	5,200	160
パートタイム(嘱託職員)	0	0	0	0	0	0
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,110	35	317	10	5,200	160

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		70,794	0	90,708
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	公園再編	70,794	0	90,708
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		70,794	0	90,708

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	71,904	317	95,908

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	35,000	0	45,170
県支出金	0	0	0
市債	31,500	0	40,700
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	66,500	0	85,870

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	5,404	317	10,038

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	地域住民	地域住民	地域住民
受益者数	11,700	8,600	36,800
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	462	37	273

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	公園のストック再編		公園
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	2	1	4
実績値	2	1	4

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	再編した公園数		公園
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	2	1	4
実績値	2	1	4
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	老朽化した公園施設の改修及び地域住民のニーズを取り入れた公園再編を実施するものであり、市民・社会ニーズに適合している。 地域に密着した地域のコミュニティ形成に寄与する重要な都市公園であり、市民協働のもと、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	公園が再編されることで、市民活動が活性化し、直接利用価値が向上するほか、安心・安全な公園が維持されることで、環境維持や防災性向上などの間接利用価値の向上が図られている。 岐阜市緑の基本計画に基づくとともに、地域と意見交換しながら効率的かつ効果的に事業が行われている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	地域住民から高い評価をいただくとともに、子どもを中心に利用者も増えたと聞いている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	公園は市民の利用に供するものであり、受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	公園が再編されることで、費用対効果や目標達成、地域コミュニティの形成(賑わいづくり)に大きく寄与することから、現状維持として事業を継続実施する。

事業評価シート

番号 1740070 _ 006

【1.基本情報】

事業名	金公園再整備事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	持続可能な都市基盤づくりの推進		政策コード	6 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	令和2 年度～	4 年度	根拠法令 関連計画※	都市公園法	

【2.事業概要】

事業の目的	金公園は、本市の中心市街地である岐阜駅とぎふメディアコスモスの中間に位置しており、地域コミュニティの形成やにぎわい創出の拠点としての役割を担っている。このような状況のもと、地域住民をはじめ多くの市民が集い、憩いと安らぎの空間を創出するため、市民によるイベント等活動を誘発するとともに、新たな賑わいを創出するまちなか活性化の拠点となるよう公園のセントラルパーク化を図る。				
事業の内容	岐阜の豊かな自然環境が有する多様な機能を活かすとともに、多くの市民が自然を感じ、憩う緑の空間を”CORE”にした持続可能で魅力ある公園づくりを官民一体で行う。				
事業の対象	何を	公園施設(便益施設、休養施設、遊戯施設等)			
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び公園利用者			
	どのくらい (具体的 数値で)	開設面積: 1.0ha			
令和2年度 (実施内容)	金公園の再整備(実施設計、工事)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	8,125	250
パートタイム(嘱託職員)	0	0	0	0	0	0
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	8,125	250

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		0	0	20,020
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	実施設計	0	0	20,020
	工事費	0	0	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		0	0	20,020

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	28,145

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	21,293
県支出金	0	0	0
市債	0	0	1,500
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	22,793

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	5,352

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	－	－	－
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)			0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	再整備面積		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	－	－	－
実績値	－	－	－

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	公園隣接道路の歩行者数の増加		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	－	－	－
実績値	－	－	－
達成状況	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	多くの市民が憩い、にぎわいあふれる公園に再整備することで、中心市街地の活性化に大きく寄与することから、市民・社会のニーズに適合している。 本市を代表する都市公園であり、周辺商店街や民間団体の意向、民間活力の導入等の様々な視点を取り入れながら、市が適切に再整備・維持管理する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	公園が再整備されることで、市民活動が活性化し、直接利用価値が向上するほか、安心・安全な公園が維持されることで、環境維持や防災性向上などの間接利用価値の向上が図られている。 岐阜市中心市街地活性化基本計画に基づくとともに、公園利用者の意見を反映するなど、効率的かつ効果的に事業が行われている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	公園が有する多様な機能を活かし、持続可能で魅力ある再整備を実施することにより、多様な世代が居心地よく、安全・安心に公園利用ができることで、期待した効果が得られる見込みである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	本公園は本市のセントラルパークであり、市民全般の利用に供するものであることから、受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	市民や利用者等の意見を伺いながら再整備を行い、多くの市民が憩い、にぎわいあふれる空間が創出されることで、費用対効果や目標達成に大きく寄与することから、現状維持として事業を継続実施する。

事業評価シート

番号 1740070 _ 007

【1.基本情報】

事業名	岐阜市畜産センター公園再整備事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	持続可能な都市基盤づくりの推進		政策コード	6 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	令和元 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	都市公園法	

【2.事業概要】

事業の目的	老朽化した公園施設の改修や市民ニーズの多様化に対応した公園再編を行うことにより、魅力あふれる総合公園とするための再整備を行う。				
事業の内容	本市を代表する総合公園として、地域の特性を活かし、魅力あふれる公園施設の再編及び再整備を行う。				
事業の対象	何を	公園施設(園路広場、修景施設、便益施設、休養施設等)			
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び公園利用者			
	どのくらい (具体的 数値で)	開設面積: 26.2ha			
令和2年度 (実施内容)	岐阜市畜産センター公園再整備(施設再編検討)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	3,400	100	4,875	150
パートタイム(嘱託職員)	0	0	0	0	0	0
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	3,400	100	4,875	150

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		0	2,387	5,709
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	設計費	0	2,387	5,709
減価償却費【施設管理】※(C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		0	2,387	5,709

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	5,787	10,584

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	5,787	10,584

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	公園利用者	公園利用者	公園利用者
受益者数	142,545	0	144,192
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)		0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	73

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	公園施設の更新	単位	施設
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	-	-	-
実績値	-	-	-

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	公園利用者の満足度	単位	%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	85	85	85
実績値	82	—	—
達成状況	×(未達成)	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	老朽化した公園施設の改修や市民ニーズの多様化に対応した公園再編を行うものであり、市民・社会ニーズに適合している。 本市を代表する総合公園であり、市が指定管理者とともに、適切に整備・維持管理する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	再整備により、市民の憩いの場の創出やレクリエーションの場の提供をはじめとする直接利用価値の向上に加え、環境保全や防災性向上などの間接利用価値の向上が図られている。 本市を代表する総合公園として、効率的かつ効果的に再整備への検討を進めている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	本市の総合公園として魅力あふれる公園施設の再編に必要な調査・検討を行い、さらに再整備事業を推進すること、期待した効果が得られる見込みである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	本公園は、本市を代表する総合公園であり、市民全般の総合的な利用に供するものであることから、受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	市民や利用者等の意見を伺いながら、本市の総合公園として魅力あふれる再整備を進めることで、費用対効果や目標達成に大きく寄与することから、現状維持として事業を継続実施する。

事業評価シート

番号 1740070 _ 008

【1.基本情報】

事業名	菊人形・菊花展業務委託				
担当部名	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード	6 - 1 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	委託業者	
実施期間	昭和52 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	都市緑地法・岐阜市緑の基本計画	

【2.事業概要】

事業の目的	鶉飼開催期間後のイベントと位置付け、本市の観光拠点である岐阜公園で菊人形・菊花展を開催し、市内外からの集客を図る				
事業の内容	来場者用ゲート及びテント、花台を設置し、菊花、菊人形を展示				
事業の対象	何を	菊人形・菊花展			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜公園来園者			
	どのくらい (具体的 数値で)	10月下旬から11月下旬の約1か月間開催する			
令和2年度 (実施内容)	10月25日から11月20日までの27日間開催 来場者用ゲート及びテント、花台を設置し、菊花約3000鉢、菊人形10体の展示 大河ドラマ「麒麟がくる」の放映を記念した特別展示				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	476	15	510	15	488	15
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	476	15	510	15	488	15

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		5,778	6,273	8,630
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	会場設営	3,045	3,490	3,427
	菊人形設営等	2,733	2,783	2,203
	特別展示	0	0	3,000
減価償却費【施設管理】※(C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		5,778	6,273	8,630

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	6,254	6,783	9,118

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			1,500
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	1,500

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	6,254	6,783	7,618

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	410,297	408,970	408,109
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	15	17	19

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開催日数	単位	日
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	30	30	31
実績値	27	27	31

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	岐阜公園の年間来園者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1,500,000	1,500,000	1,500,000
実績値	1,015,787	1,117,418	659,261
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	本市の観光拠点である岐阜公園において、本市の観光振興推進に寄与している。 岐阜公園来園者を対象としているため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市内外からの集客に効果がある。 民間への委託により効率的な方法となっている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市内外からの集客に効果がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市内外からの集客に効果があり、観光振興推進に寄与しているため、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市内外からの集客に効果があり、観光振興の推進に寄与している事業であるため、現状のまま実施する。

事業評価シート

番号 1740070 _ 009

【1.基本情報】

事業名	民有地緑化推進・啓発				
担当部署	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード	6 - 1 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	(一般財団法人) 岐阜市みどりのまち推進財団	
実施期間	平成13年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	市民に対する緑化への関心を高め、自らが緑を通じてのまちづくりを行うための事業を実施し、民有地緑化を推進する	
事業の内容	○緑を増やす事業(ふれあい花壇団体支援、わが家のシンボルツリー記念樹配布) ○緑を広める事業(花飾り講習会、緑化啓発イベントの開催等) ○緑を引き継ぐ事業(樹木の診断、保存樹・保存樹林の保護) ○その他緑化事業(啓発冊子の作成等)	
事業の対象	何を	民有地緑化に関する事業
	誰に (対象者・対象者数)	市民
	どのくらい (具体的 数値で)	ふれあい花壇団体交流会(年2回:各3会場)、わが家のシンボルツリー記念樹配布(年2回:600件)、花飾り講習会(年4回:12日間)、啓発イベントの開催等
令和2年度 (実施内容)	ふれあい花壇団体交流会(年1回:3会場)、わが家のシンボルツリー記念樹配布(年2回:900本)、花飾り講習会(年3回:7日間)、啓発イベントの開催等	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	159	5	170	5	163	5
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	159	5	170	5	163	5

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		14,382	14,882	15,082
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	ふれあい花壇団体支援等	14,382	14,882	15,082
減価償却費【施設管理】※(C)				
計(D)=B+C		14,382	14,882	15,082

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	14,541	15,052	15,245

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	14,541	15,052	15,245

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	410,297	408,970	408,109
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	35	37	37

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	花飾り講習会の開催日数		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	13	13	12
実績値	13	10	7

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	花飾り講習会参加人数		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	510	510	480
実績値	537	398	250
達成状況	○(達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市内の緑化推進に寄与している。 市内の緑化推進を市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民の緑化に対する意識の向上に効果がある。 民有地緑化を推進している(一財)岐阜市みどりのまち推進財団への委託により、効率的な方法となっている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民の緑化に対する意識の向上に効果がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市民の緑化に対する意識の向上に効果があり、市内の緑化推進に寄与しているため、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民の緑化に対する意識の向上に効果があり、市内の緑化推進に寄与している事業であるため、現状のまま実施する。

事業評価シート

番号 1740070 _ 010

【1.基本情報】

事業名	ふれあい花壇				
担当部名	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード	6 - 1 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	(一般財団法人) 岐阜市みどりのまち推進財団	
実施期間	平成7年度～	年度	根拠法令 関連計画※	都市緑地法・岐阜市緑の基本計画	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の緑化への関心を高め、花壇作りを通じて、花と緑のある潤いと安らぎのあるまちづくりを推進し、地域の連帯感を醸成する	
事業の内容	○ふれあい花壇登録団体へ草花の苗を年2回配布 ○ふれあい花壇づくりの支援	
事業の対象	何を	草花の苗
	誰に (対象者・対象者数)	ふれあい花壇登録団体
	どのくらい (具体的 数値で)	年2回配布する
令和2年度 (実施内容)	○ふれあい花壇登録団体へ草花の苗を年1回配布 ○ふれあい花壇づくりのための肥料等を配布	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	380	12	408	12	390	12
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	380	12	408	12	390	12

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	草花苗等	6,125	5,693	2,789
	土等	269	117	110
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		6,394	5,810	2,899

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	6,774	6,218	3,289

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	6,774	6,218	3,289

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	410,297	408,970	408,109
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	17	15	8

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	ふれあい花壇登録団体数	単位	団体
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	250	250	250
実績値	241	241	240

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	ふれあい花壇1団体当りの会員数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	80.0	80.0	80.0
実績値	77.6	78.2	78.4
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市内の緑化推進に寄与している。 市内の緑化推進を市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民の緑化に対する意識の向上に効果がある。 民有地緑化を推進している(一財)岐阜市みどりのまち推進財団への委託により、効率的な方法となっている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民の緑化に対する意識の向上に、効果がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市民の緑化に対する意識の向上に効果があり、市内の緑化推進に寄与しているため、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民の緑化に対する意識の向上に効果があり、市内の緑化推進に寄与している事業であるため、現状のまま実施する。

事業評価シート

番号 1740070 _ 011

【1.基本情報】

事業名	フローラリー岐阜				
担当部名	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード	6 - 1 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	フローラリー岐阜実行委員会
実施期間	平成4 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	都市緑地法・岐阜市緑の基本計画	

【2.事業概要】

事業の目的	緑を広める事業として、市民に緑化に対する関心や愛着をより一層深めるため、4月29日に各種団体と協働してイベントを開催する				
事業の内容	ステージを使った催し物、各種団体の展示・即売、緑に関する相談会等				
事業の対象	何を	花と緑のフェスティバル「フローラリー岐阜」			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	年1回(春)開催する			
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	159	5	170	5	0	
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	159	5	170	5	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		840	840	0
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	負担金	840	840	
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		840	840	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	999	1,010	0

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	999	1,010	0

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	410,297	408,970	408,109
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2	2	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	出展団体数		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	10	10	10
実績値	11	11	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	長良公園年間来園者数		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	400,000	400,000	400,000
実績値	362,451	380,248	—
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市内の緑化推進に寄与している。 市内の緑化推進を市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民の緑化に対する意識の向上に効果がある。 各種団体との協働による実行委員会の実施であり、効率的な方法となっている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民の緑化に対する意識の向上に効果がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市民の緑化に対する意識の向上に効果があり、市内の緑化推進に寄与しているため、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民の緑化に対する意識の向上に効果があり、市内の緑化推進に寄与している事業であるため、現状のまま実施する。

事業評価シート

番号 1740070 _ 012

【1.基本情報】

事業名	都市公園指定管理				
担当部名	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	持続可能な都市基盤づくりの推進		政策コード	6 - 2 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	指定管理者	
実施期間	平成29年度～令和3年度	根拠法令 関連計画※			

【2.事業概要】

事業の目的	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営のもと、上質な住民サービスを提供しながら、管理経費の削減等、管理運営の効率化を図る。	
事業の内容	11箇所の都市公園の管理及び運営	
事業の対象	何を	快適な公園環境
	誰に (対象者・対象者数)	来園者
	どのくらい (具体的 数値で)	来園者
令和2年度 (実施内容)	指定管理者制度により、管理運営を実施。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,340	200	6,800	200	6,500	200
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	6,340	200	6,800	200	6,500	200

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		461,640	463,726	470,323
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	指定管理料	461,640	463,726	470,323
減価償却費【施設管理】※(C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		461,640	463,726	470,323

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	467,980	470,526	476,823

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	65,961	75,340	66,964
その他			
計(F)	65,961	75,340	66,964

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	402,019	395,186	409,859

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	公園利用者(岐阜ファミリーパーク)	公園利用者(岐阜ファミリーパーク)	公園利用者(岐阜ファミリーパーク)
受益者数	487,917	608,653	462,840
受益者負担額(千円)	42,303	53,101	48,070
受益者負担率(%)	9.0%	11.3%	10.1%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	824	649	886

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	指定管理公園数	単位	公園
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	11	11	11
実績値	11	11	11

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	公園利用者の満足度(岐阜ファミリーパーク/長良公園)	単位	%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	95/90	95/90	95/90
実績値	93/91	92/87	94/86
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	公園利用者により良いサービスを提供するため、指定管理者の創意工夫による管理経費の削減等、管理運営の効率化を図る必要がある。 子どもからお年寄りまでの幅広い年齢層の自然とのふれあい、レクリエーション活動、健康運動、文化活動等様々な活動の拠点として、市民に様々なサービスを提供する重要な役割を担っているため、市及び指定管理者による適切な管理運営が必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	上記の必要性により、本公園の運営管理は必要である。 指定管理者制度を活用していることから、他に効率的な方法はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、公園利用者により良いサービスの提供がなされ、期待した効果が得られた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	全ての公園利用者が受益者であり、一部の有料公園施設について、その施設の維持管理のため、利用する際に料金を徴収することは適当であり、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	指定管理者(民間)の能力やノウハウを幅広く活用しつつ、公園利用者へのより一層のサービス向上を図るとともに、管理経費の節減等、管理運営の効率化を図るため、現状維持とする。

事業評価シート

番号 1740070 _ 013

【1.基本情報】

事業名	身近にスポーツができる地域づくり事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	公園整備課		
未来地図政策	持続可能な都市基盤づくりの推進		政策コード	6 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	令和2 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	都市公園法	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の身近な公園で、誰もが無理なく自然に身体を動かすことが出来る環境づくりを行い、市民が健やかで幸せを実感して暮らせるまちづくりを推進する。				
事業の内容	健康遊具の設置				
事業の対象	何を	公園施設(健康遊具)			
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び公園利用者			
	どのくらい (具体的 数値で)	4基/年			
令和2年度 (実施内容)	健康遊具の設置(2公園6施設)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	1,950	60
パートタイム(嘱託職員)	0	0	0	0	0	0
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	1,950	60

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		0	0	5,000
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	施設整備	0	0	5,000
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		0	0	5,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	6,950

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	2,500
県支出金	0	0	0
市債	0	0	2,200
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	4,700

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	2,250

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	-	-	公園利用者
受益者数	0	0	13,800
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)			0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			163

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	公園施設の設置		公園
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	-	-	2
実績値	-	-	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	整備した公園数		公園
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	-	-	2
実績値	-	-	2
達成状況	—	—	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民をはじめとする公園利用者が無理なく自然に身体を動かすことができるよう事業を実施するものであり、市民・社会ニーズに適合している。 市民の健康促進に寄与する重要な事業のため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	公園施設が設置されることで、市民活動が活性化し、直接利用価値が向上するほか、無理なく自然に身体を動かすことで、健康維持などの間接利用価値の向上が図られている。 ない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	健康遊具が設置されることで、市民活動の活性化や費用対効果に大きく寄与することから、本事業は有効性が高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	健康遊具が設置されることで、費用対効果や目標達成、市民の健康促進に大きく寄与することから、現状維持として事業を継続実施する。